

NSK



Change & Go Beyond

2026年3月期 1Q決算説明会

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

2025年8月1日
日本精工株式会社

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

目次

1. 2026年3月期 1Q実績
2. 2026年3月期 通期予想
3. MTP2026の取り組み
(補足資料)

2026年3月期 1Q実績

2026年3月期（FY25）1Q決算のポイント



FY25 1Q実績

- ✓ 対前年、円高影響で減収も実質物量は微増。
- ✓ 欧州を中心とした構造改革は計画どおりに進捗。
- ✓ 米国追加関税対しての売価転嫁を開始。

売上高	1,958億円	YoY	-2.4%
営業利益	48億円		-18.4%
一過性除く※	59億円		-13.6%

FY25 通期予想

- ✓ 2025年5月公表値から変更なし。
- ✓ 通期予想にステアリング事業の連結化影響は含まず。
- ✓ 配当は年間34円/株から変更なし。

売上高	7,600億円	YoY	-4.6%
営業利益	220億円		-22.7%
一過性除く※	305億円		-16.2%

※ 営業利益からその他の営業費用（為替差損益ほか）および一過性費用を除いた利益を表示しています。

本日はお忙しい中、当社FY25第1四半期の決算説明会にご参集いただきありがとうございます。

FY25第1四半期決算のポイントになります。円高の影響もあり、売上高は1,958億円、営業利益で48億円と減収減益になりましたが、円高影響を除く実質物量は若干プラスでした。

欧州を中心とした構造改革は計画どおりに進捗し、米国による追加関税に対しての売価転嫁を開始しました。

FY25通期予想は2025年5月の公表値から変更はありません。ステアリング事業の連結化の影響は含まない前提であり、売上高7,600億円、営業利益220億円を据え置いています。

なお、年間の配当金34円/株も変更ありません。

FY25 1Q実績サマリー



- ✓ 対前年は円高影響により減収減益。
- ✓ 対予想ではほぼ計画どおりに進捗。

(億円)		1Q実績		YoY	
		FY24	FY25	増減額 (為替影響)	増減率
継続事業	売上高	2,005	1,958	-47 (-89)	-2.4%
	営業利益	59	48	-11	-18.4%
	(率)	(2.9%)	(2.4%)	(-23)	
	一過性除く ※1	68	59	-9	-13.6%
	(率)	(3.4%)	(3.0%)	(-21)	
	税引前利益	52	49	-3	-5.0%
	当期利益	19	11	-9	-44.2%
	(親会社所有者帰属)				
継続事業 + 非継続事業	当期利益	19	11	※2 -8	-43.1%
	(親会社所有者帰属)				
	換算レート 1USD	155.9	144.6	-11.3	-7.2%
	" 1EUR	167.9	163.8	-4.1	-2.4%
	" 1CNY	21.5	20.0	-1.5	-6.9%

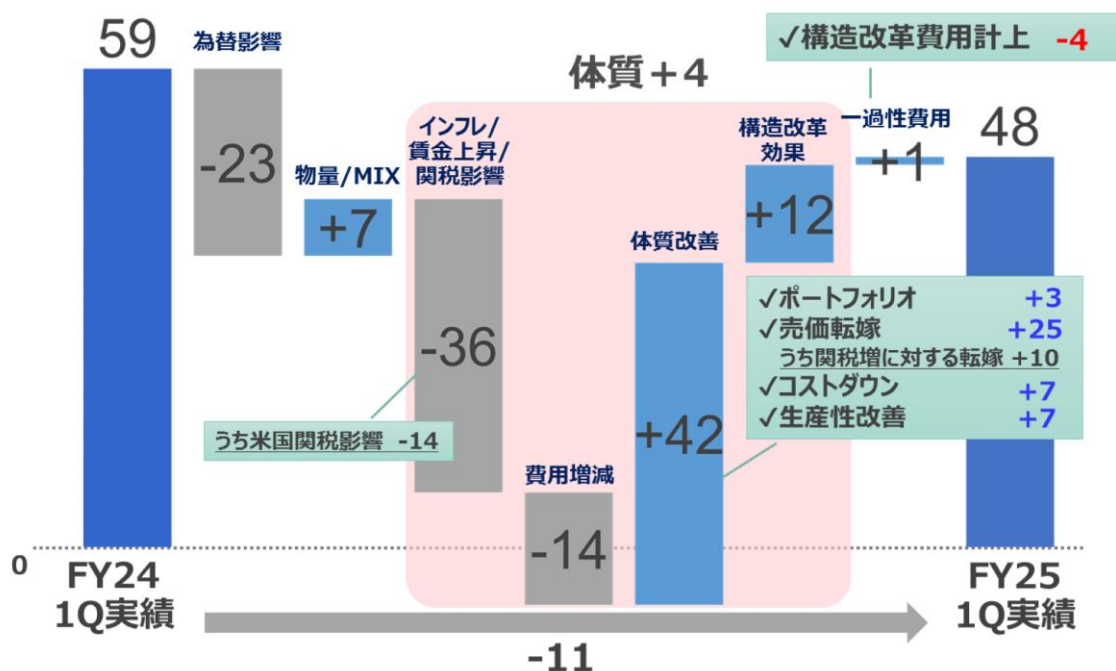
※1 営業利益からその他の営業費用（為替差損益ほか）および一過性費用を除いた利益を表示しています。
※2 FY25実績には非継続事業の対象はないため継続事業の数値を表示しています。

こちらは1Q実績のサマリーです。売上高は1,958億円で対前年47億円の減収となりましたが、こちらには-89億円の為替の影響が含まれています。営業利益の実績は48億円となり、対前年11億円の減益となりました。営業利益に対する為替の影響は-23億円になります。税引前利益は49億円、当期利益は11億円となり、当社予想に対し計画どおりに進捗していると考えています。また、ステアリング事業については持分法損益で約 2 億円の黒字となりました。

営業利益 増減内訳 FY24 1Q実績 ⇒ FY25 1Q実績

MOTION & CONTROL
NSK

(億円)



Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

6

営業利益の対前年差の説明となります。前年実績59億円に対し、円高の影響は-23億円でした。本日冒頭に若干の物量増という説明をしましたが、物量/Mixは+7億円となりました。体質としては+4億円の改善ができていると考えており、中身としては米国追加関税の影響を含むインフレ影響が-36億円、費用増は-14億円で、特に今年は基幹システムの国内での立ち上げがあります。それらに対する体質改善としてポートフォリオ、売価転嫁、コストダウン、生産性改善などが合わせて+42億円あり、加えて前期から取り組んでいる構造改革効果が+12億円あります。これらをネットして+4億円の体質改善になりました。一過性の費用は構造改革費用を4億円ほど計上しましたが、前年計上した費用とのネットでは+1億円となっています。

以上がFY25第1四半期の営業利益実績となります。

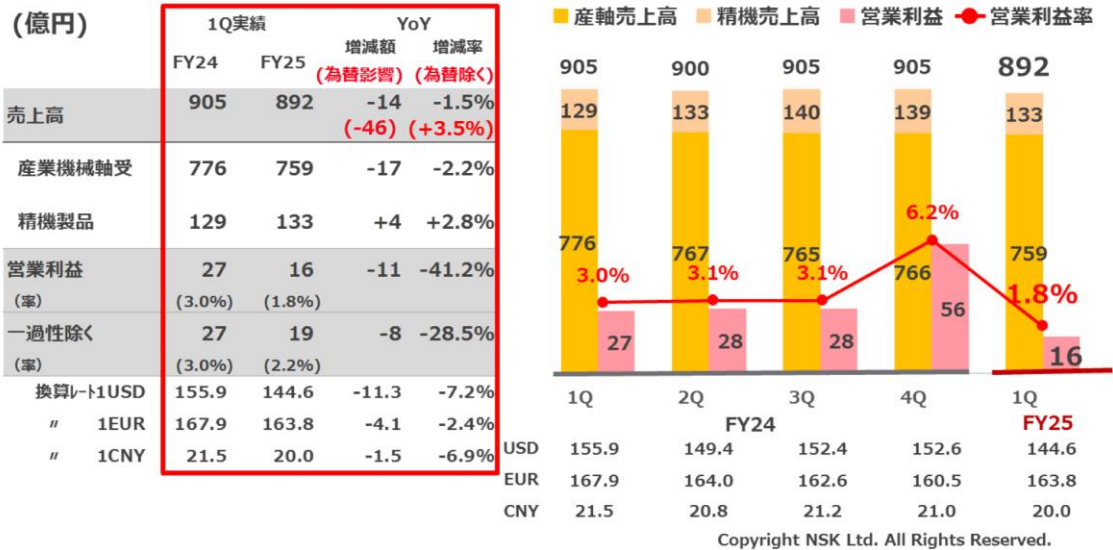
FY25 1Q実績 -産業機械事業-



FY25 1Q実績 YoY減収減益。除く為替影響では中国を中心に増収。

- ・産機軸受：YoY 中国向けで増加。
- ・精機製品：YoY 米州向けで増加。

一過性費用 FY25 1Q 3億円、FY24 1Q 計上なし、2Q 12億円、3Q 1億円、4Q 5億円
1Q営業利益は、増収効果に対し構造改革費用や円高影響で減益。



産業機械事業の実績です。FY25第1四半期の売上高は892億円で、対前年-14億円となりました。こちらには、為替の影響が-46億円含まれています。営業利益は16億円となり対前年-11億円になりましたが、為替の影響が-14億円程度あります。第1四半期の物量感ですが、軸受においては中国向けで若干増加、精機製品については米州でスポットの需要対応もあり増加しました。しかしながら第1四半期の営業利益率については、増収効果に対して構造改革費用の計上や円高影響などがあり、減益となりました。

FY25 1Q実績 -自動車事業-



FY25 1Q YoY減収増益。除く為替影響でグローバル生産台数並に成長。

- ・ 欧州地域の低迷に対し、中国や米州での拡販が寄与。

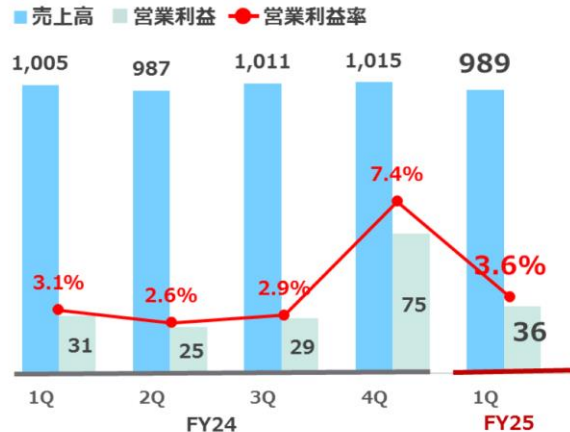
一過性費用 FY25 1Q 1億円(構造改革以外1億円)

FY24 1Q 5億円、2Q 計上なし、3Q 25億円(構造改革以外10億円) 、4Q 1億円

1Q営業利益は、円高影響や関税コスト増の中、物量効果と体質改善で増益。

(億円)

	1Q実績		YoY	
	FY24	FY25	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	1,005	989	-16 (-42)	-1.6% (+2.6%)
営業利益	31	36	+5	+16.1%
(率)	(3.1%)	(3.6%)		
一過性除く	35	37	+1	+3.4%
(率)	(3.5%)	(3.7%)		
換算レート1USD	155.9	144.6	-11.3	-7.2%
" 1EUR	167.9	163.8	-4.1	-2.4%
" 1CNY	21.5	20.0	-1.5	-6.9%



グローバル自動車生産台数 (IHS)

百万台	FY24 1Q	FY25 1Q	増減率		FY24				FY25 1Q
					USD	EUR	CNY		
	22	23	+3 %		155.9	167.9	21.5	149.4 164.0 20.8	144.6 163.8 20.0

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

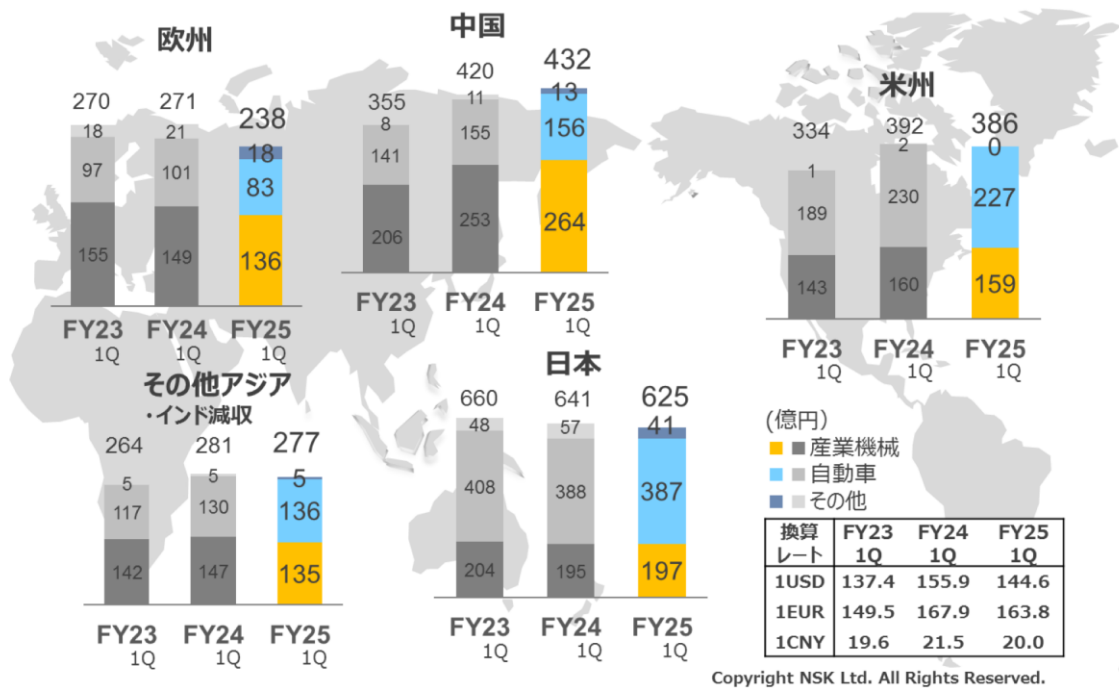
8

自動車事業の第1四半期の売上高は989億円となり、対前年-16億円の減収でした。為替の影響は-42億円です。営業利益は36億円となり対前年で + 5 億円でした。円高の影響がありましたが、若干の増収による効果もあり、その影響をはね返すことができたものと見ています。

FY25 1Q実績 –顧客地域別売上高–



欧州：産機、自動車低迷継続。中国：景気刺激策を背景に増収。
米州：為替影響除きで実質増収。日本：産機回復足踏み。自動車は横ばい。



第1四半期の売上高についてFY23からFY25まで各地域別にバーチャートで並べたものになります。欧州は今期238億円となり、為替の影響もありますが自動車・産機ともに対前年から大幅な減収となりました。中国に関しては、産業機械・自動車ともに若干プラスとなりました。米州は為替影響を除くと増収ですが、成長は足踏み状態にあると考えます。日本は産機の回復が足踏みしていて、自動車に関しては横ばいという状況が続いています。

2026年3月期 通期予想

2026年3月期（FY25）通期業績予想



- ✓ 通期業績予想にはステアリング事業は含まず。
- ✓ ステアリング事業の連結化は9月1日を予定。2Q決算にて予想を修正する。

(億円)		FY24 通期実績	FY25 通期予想	増減額 (為替影響)	YoY 増減率
継続事業	売上高	7,967	7,600	-367 (-400)	-4.6%
	営業利益	285	220	-65	-22.7%
	(率)	(3.6%)	(2.9%)	(-90)	
	一過性除く ※1	364	305	-59	-16.2%
	(率)	(4.6%)	(4.0%)	(-90)	
	税引前利益	251	190	-61	-24.3%
継続事業 + 非継続事業	当期利益	106	70 ※2	-36	-34.3%
(親会社所有者帰属)					
換算レート1USD		152.6	135.0	-17.6	-11.5%
" 1EUR		163.7	155.0	-8.7	-5.3%
" 1CNY		21.1	19.0	-2.1	-10.0%

※1 営業利益からその他の営業費用（為替差損益ほか）および一過性費用を除いた利益を表示しています。
※2 FY25通期予想には非継続事業の対象はないため継続事業の数値を表示しています。

通期の業績予想にはステアリング事業は含まれていませんが、連結化の予定は9月1日です。第2四半期決算においては予想を修正した形でお知らせできると考えています。通期の業績予想は当初予想を維持し、売上高7,600億円、営業利益220億円、税引前利益190億円、当期利益70億円となります。

- ✓ 事業環境は予想前提のとおり、対前年で横ばいの見方を継続。
- ✓ 米国関税政策への対応および構造改革の取り組みは計画に沿って進捗。

	予想前提	1Q時点
事業環境	✓ 米国関税影響など不透明な経済環境の中、物量の回復は停滞することを前提。	✓ 産機は足もと中国の景気対策の効果が出たが物量の回復は鈍い。 ✓ 自動車生産台数は予想通りに推移。
米国 関税政策	✓ FY25は120億円のコスト増を想定 -日本24%、メキシコ25%、中国100%～ -相互関税90日間停止 ✓ 関税政策によるコスト増加分は全て 売価へ転嫁する方針	✓ 7月23日の日米関税合意内容の影響はFY25 90億円。 ✓ 1Qは14億円のコスト増に対し、 10億円（7割）を回収。 ✓ 売価転嫁の方針を維持。
構造改革	✓ 欧州を中心に1000名規模の削減 (FY24 600名、FY25 400名) -効果の刈り取り +44億円 -一過性費用計上 -65億円	✓ 400名に対し150名まで進捗。 -効果の刈り取り +12億円 -一過性費用計上 -4億円 ✓ 追加のコスト発生予定はなし。

第1四半期を終えた時点での事業環境について触れたいと思います。市場の重要動向についてはほぼ予想前提どおりに進んでいる状況ですが、物量の回復の兆候としてクリアなものは出てきていないと感じています。また、米国の追加関税が現時点で決着したという前提で見れば、自動車の生産台数は当初の予想どおりに推移していくのではないかと考えます。

それから、米国の追加関税影響については、当初120億円のコスト増と説明しましたが、現在の状況からすると90億円程度まで縮小したと見ています。実際の影響として、第1四半期は約14億円のコスト増となりましたが、自動車、産機合わせてお客様との交渉の中で7割程度である10億円の回収ができました。第2四半期以降も関税による影響については売価転嫁していく方針に変わりありません。

構造改革の進捗については、欧州を中心に1,000名規模の削減を進めており、前年度は600名ほどの実績でした。今期は400名の目標に対し第1四半期で150名の進捗となっています。効果の刈り取りは通期で44億円、一過性費用の計上は65億円を計画しており計画から変更はありません。第1四半期の効果の刈り取りは12億円、一過性費用の計上は4億円です。先行き不透明な状況ではありますが、しっかりと構造改革および収益体質の改善の取り組みを継続していきます。

MTP2026の取り組み

新商品を育てる - Bearings & Beyond -

MOTION & CONTROL
NSK

✓ 社会課題の解決に向けて技術の追求と拡大で様々な新商品を開発・展開。

伝動×制御

安全・安心な社会への貢献

✓ 電動化への貢献

・電動ブレーキシステム用
ボールねじ



✓ 信頼性・燃費/電費向上
・テーパーハブユニット軸受

✓ 小型化・省電力
・ロックングクラッチ



✓ 人とロボットの協業
・搬送アシストロボット
・アクティブキャスタ



新商品

目標 500億円

進捗 8割

オープンイノベーション

M&A

コア技術

トライボロジー技術
材料技術
解析技術
メカトロ技術



Change & Go Beyond

No.1製品

ボールベアリング
精密ベアリング
精密ボールねじ
自動車ベアリング

モノ売り×コト売り

✓ 省資源・省エネルギー

・PLMモデルの確立へ

OEM受注 ~ CMSによる故障・寿命診断 ~

リコンディショニングで軸受修理 ~ AM受注 ~



デンフトラック



本製品



故障機(客先品)

循環型社会・環境へ貢献

✓ 地球環境の保全

・食用油劣化抑制フィルター



Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

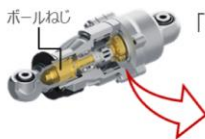
14

MTP2026のトピックスとして新商品の売上進捗だけ紹介させていただきます。新商品の売上高は自動車を中心になってしまっていますが、500億円の目標に対して8割程度まで何とか積み上がってきました。ポイントは電動ブレーキ用のボールねじが高いシェアで獲得できたことです。それから、重量の重い電動車やピックアップトラックなど高車重向けのハブユニットがあり、こちらの受注が進んでいます。また、ロックングクラッチやアクティブキャスタ、そして分解可能なベアリングなども生み出しています。

分解可能なベアリングはMRO（Maintenance, Repair, and Operations）を対象にした開発製品です。これら1つずつですが新商品のバリエーションも揃ってきており、少しずつ受注も出てきている状況です。

✓ 自動車の電動化・自動運転を支える新商品の開発

ボールねじ 「後輪操舵アクチュエータ」 自動車の電動化・自動運転に伴い需要が見込まれる

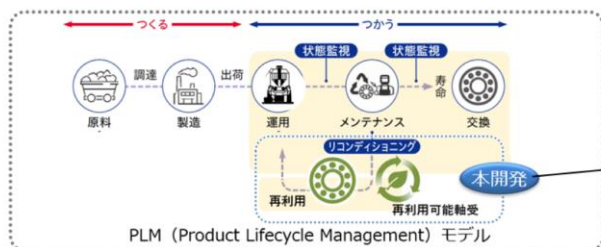


ロッキングクラッチを開発・提案

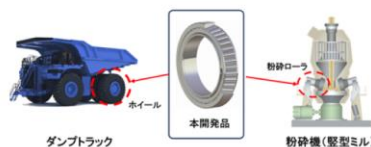
・ボールねじとロッキングクラッチの組み合わせで
逆作動防止をしつつモータの小型化・省電力化を実現。

後輪操舵アクチュエータにとどまらず、自動車の車高調整や電動ドア・シート、
産機ではAGV・搬送ロボットなどのパーキング機構、昇降装置などへの展開を目指す。

✓ PLM※モデルの確立へリコンディショニングに対応した軸受を開発



※ Product Lifecycle Managementの略、製品のライフサイクルを管理すること。



高負荷容量大形円すいころ軸受

・鉱山設備のシャフト、ギアなどは既にリコンディショニングに
対応も、現行品の軸受は対応しておらずメンテナンス時に
全数廃棄・交換。そのため市場ニーズが高まっている。

先ほど説明しましたロッキングクラッチや、いわゆるMRO・リコンディショニングに対応したベアリングの開発についての補足です。特にロッキングクラッチは、我々が持っているボールねじと組み合わせることにより、自動車・産機問わず電動化のアプリケーションへの適用拡大を図っていきたいと考えています。そして、分解可能なベアリングは、アフターマーケット・MRO市場において我々の製品の優位性を高めるとともに状態監視の技術を結びつけていきたいと考えています。

説明は以上となります。ありがとうございました。

補足資料

✓環境の取り組みを計画以上のペースで推進

「つくる」事業活動のCO₂排出削減
(Scope1+2 FY17比)

FY24実績見込み **-55%**
(FY26目標 -50%)

「つかう」商品によるCO₂排出削減貢献量

FY24実績見込み **2,324**千t
(FY26目標 3,000千t)

✓社外取締役と機関投資家との対話を実施

主な内容：業績/株価の現状、取締役会での議論他

日時：2025年5月23日

出席者：津田取締役、機関投資家(7社7名)

[質疑応答の詳細はこちら](#)



✓政策保有株式の縮減（みなし保有株式はFY23に全て売却）

連結資本合計に対する保有比率 **4.7%**(2025年3月末時点)

(2023年3月末時点 15.1% > 2024年3月末時点 5.5%)

✓取締役会のスキル・マトリックスの開示を改善

取締役に通ずるスキル・経験・知識およびスキル・マトリックスの項目選定理由を明示

[詳細はこちら](#) 2025年3月期（第164期）定時株主総会招集ご通知 P17~18

ユニット・システム製品の開発

未来のモビリティにおけるイノベーションを促進
「電動コーナーモジュールコンセプト」



✓ 高度な自動運転と柔軟な
部品配置を実現

新領域への挑戦

盛岡市動物公園 ZOOMOへの堆肥製造プラント
「ちとせバイオマス変換プラント」導入

✓ ちとせグループとともに、当社のトライボロジーとモノづくりの
技術を活かしビジネス領域の拡大と循環型社会実現に貢献



デジタル技術の活用

生成AIを活用した品質トラブル参照アプリケーションを開発
2025年6月から運用開始



✓ NSK製品に関する蓄積された過去の品質
トラブルデータの可視化と生成AIによる要約
機能により社員が迅速に情報を活用できる
環境を整備

補足. FY251Q実績 事業セグメント別業績

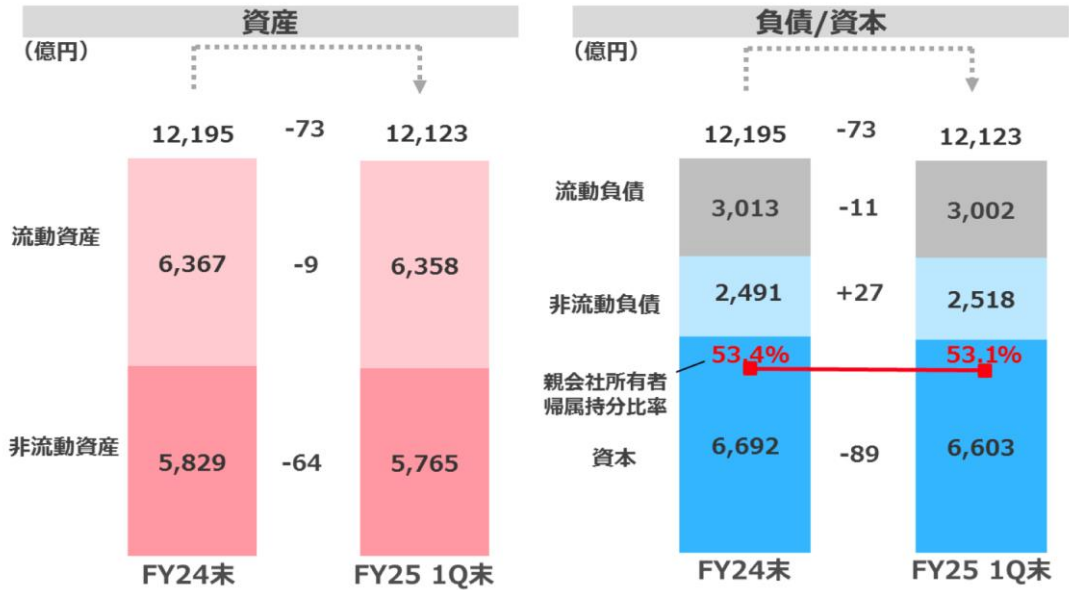
(億円)		FY24					FY25			YoY			FY25予想		
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	増減額	伸び率				1H	2H	通期
合計	売上高	2,005	1,971	1,993	1,997	7,967	1,958	-47	-2.4%				3,800	3,800	7,600
	営業利益	59	38	59	128	285	48	-11	-18.4%				105	115	220
	(営業利益率)	(2.9%)	(1.9%)	(3.0%)	(6.4%)	(3.6%)	(2.4%)						(2.8%)	(3.0%)	(2.9%)
産業機械	売上高	905	900	905	905	3,615	892	-14	-1.5%				1,750	1,770	3,520
事業	産業機械軸受	776	767	765	766	3,073	759	-17	-2.2%				1,500	1,510	3,010
	精機製品	129	133	140	139	541	133	+4	+2.8%				250	260	510
	営業利益	27	28	28	56	139	16	-11	-41.2%				55	80	135
	(営業利益率)	(3.0%)	(3.1%)	(3.1%)	(6.2%)	(3.9%)	(1.8%)						(3.1%)	(4.5%)	(3.8%)
自動車	売上高	1,005	987	1,011	1,015	4,017	989	-16	-1.6%				1,910	1,890	3,800
事業	営業利益	31	25	29	75	161	36	+5	+16.1%				55	45	100
	(営業利益率)	(3.1%)	(2.6%)	(2.9%)	(7.4%)	(4.0%)	(3.6%)						(2.9%)	(2.4%)	(2.6%)
その他	売上高	186	150	146	148	630	151	-35	-18.9%				270	275	545
	営業利益	8	1	16	-3	23	3	-5	-58.3%				5	0	5
	(営業利益率)	(4.5%)	(0.7%)	(10.9%)	(-1.8%)	(3.6%)	(2.3%)						(1.9%)	(0.0%)	(0.9%)
売上高消去		-91	-65	-69	-70	-295	-73	+17	-				-130	-135	-265
その他の営業損益/調整額		-8	-16	-14	-1	-38	-7	+0	-				-10	-10	-20

補足. 顧客地域別売上高

(億円)	FY24					FY25	YoY	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	増減額	増減率
売上高	2,005	1,971	1,993	1,997	7,967	1,958	-47	-2.4%
日本	641	658	663	651	2,613	625	-16	-2.5%
海外合計	1,364	1,313	1,330	1,347	5,354	1,333	-31	-2.3%
(海外比率)	(68.0%)	(66.6%)	(66.8%)	(67.4%)	(67.2%)	(68.1%)		
米州	392	361	362	385	1,500	386	-6	-1.6%
欧州	271	238	230	261	1,000	238	-33	-12.2%
中国	420	432	464	412	1,726	432	+13	+3.0%
その他アジア	281	283	275	290	1,128	277	-4	-1.6%
換算レート								
1USD	155.9	149.4	152.4	152.6	152.6	144.6	-11.3	-7.2%
1EUR	167.9	164.0	162.6	160.5	163.7	163.8	-4.1	-2.4%
1CNY	21.5	20.8	21.2	21.0	21.1	20.0	-1.5	-6.9%

補足. 財政状態

換算レート	FY24末	FY25 1Q末
1USD	149.5	144.8
1EUR	162.0	169.6
1CNY	20.6	20.2

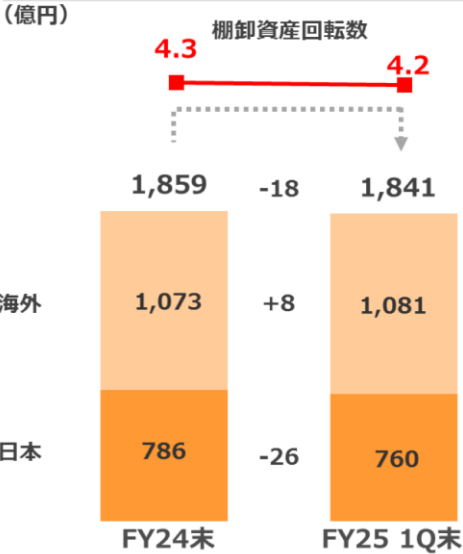


補足. 棚卸資産/有利子負債

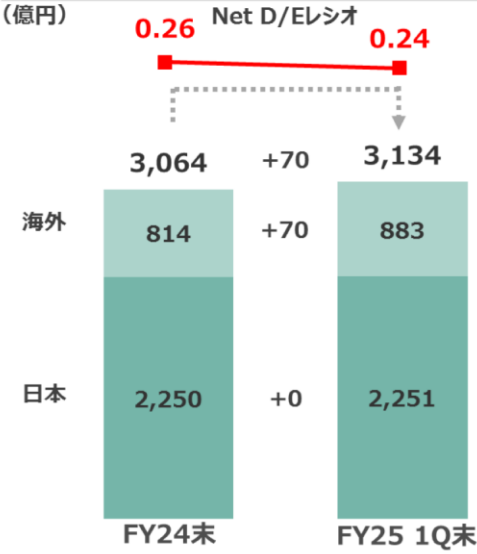


換算レート	FY24末	FY25 1Q末
1USD	149.5	144.8
1EUR	162.0	169.6
1CNY	20.6	20.2

棚卸資産



有利子負債



補足．設備投資額/減価償却費/研究開発費

(億円)	FY24 通期実績	FY25 1Q実績	FY25 通期予想
設備投資額	565	95	550
設備投資額 (リース除く)	510	90	520
減価償却費	524	127	500
減価償却費 (リース除く)	476	116	450
技術関連費用	275	70	290
研究開発費 (制度決算ベース)	163	36	170

MOTION & CONTROL™

NSK

NSKの企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ、
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSKビジョン2026

あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる 明日 を実現するための、
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.